

2014年度地域研究コンソーシアム(JCAS)次世代ワークショップ

『熱帯地域におけるランドスケープレベルでの社会環境システムの
長期モニタリング研究に関するネットワークの形成』 企画責任者:内藤大輔 (CIFOR)

国際ワークショップ

「変容するランドスケープ - 熱帯アジアでの社会生態システムの理解に向けた共同研究」

日時: 2015年2月9日(月) 10:00 ~ 17:30

場所: 総合地球環境学研究所 講演室 参加者20名程度

熱帯地域で長年の研究実績のある国際林業研究センター(CIFOR)のDirector, Dr Christine Padoch氏をお招きし、国際ワークショップを開催した、まずCIFORが進めている「ランドスケープ・アプローチ」について紹介いただき、森林周辺住民の移住と森林管理に関する最新の研究成果について講演いただいた。その後、東南アジア各地で長期フィールドワークを行ってきている研究者の方々にランドスケープ・アプローチの視点から研究事例を紹介いただき、今後の国際的な共同研究の可能性について話し合いを行った。これらの成果は今後論文特別号として発表していきたいと考えている。

- 10:00 - 10:15 開会挨拶、趣旨説明 阿部健一(地球研)、内藤大輔(CIFOR)
- 10:15 - 11:00 基調講演 Dr Christine Padoch, CIFOR
“Urbanization, multilocality, remittances and their effects on forests and communities”
- 11:00 - 12:00 水野広祐、甲山治、伊藤雅之(京都大学東南アジア研究所)
『熱帯泥炭地域社会とランドスケープ研究』
- 13:00 - 13:30 石川登(京都大学東南アジア研究所)
『河川、移住、社会編成: サラワク北部における流域ランドスケープ研究』
- 13:30 - 14:00 酒井章子(京都大学生態研)
『生態系ネットワークと人間活動』
- 15:30 - 15:45 生方 史数(岡山大学 環境生命科学研究科)
『自然の証券化と多様なステイクホルダー』
- 15:45 - 16:00 富田 晋介(京都大学大学院農学研究科)
『北部ラオスにおける世帯のライフサイクルとランドスケープ:』
- 16:00 - 17:20 今後の国際的な共同研究について

